

平成28年度 学校経営方針

北九州市立木屋瀬小学校
校長 藤井 英貴

1 本年度経営の最重点事項

本年度学校経営の基本的構え

◎ 「1時間1時間の授業の中に、教育のすべてがある。」(指導の重点)

- ※ 誰もが自分の考えを発言することができ、それをみんなに受け入れてもらえる学級の雰囲気こそ、子ども主体の学習の基盤。 【対人スキルアップの視点】
- ※ 子ども一人一人が主体的になれる授業づくり ⇒ 子ども研究と教材研究
- ※ 教師の公平な指導こそ、子どもの平等感、人権感覚の基盤。



授業研究の大切さ 【主題研修・若年研修の充実】

- ☆ 学級作り、授業作りは4月が勝負。
 - ・ 学習ルール(授業5則)の徹底に取り組む。 【学習規律の徹底が学び方に進化する】
 - ・ 聴き方の指導に、全力を尽くす。 【よい聴き手を育てる】
 - ・ 教師はしゃべりすぎない。(補足、解説、復唱しない) 【子どもが子どもに語る授業】
- ☆ 生徒指導上の問題は、「是は是、非は非」というように、毅然とした態度で指導する。
- ☆ 問題事象については、担当が一人で抱え込まず、組織的に対応する。

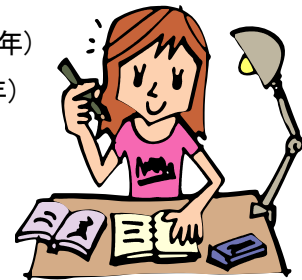
2 具体的内容

(1) 確かな学力の向上に努める。

- ① 学習ルール(授業5則)を身につけさせる。 【学習規律から学び方へ】
 - ・ 1時間毎の学習内容の指導〔主眼達成〕だけでなく、学習規律を身につけさせる。学習規律を身につけさせることが学び方を身につけさせることにつながる。

木屋瀬中学校区・小中一貫連携教育 学習ルール(授業5則)

- チャイム席 (低学年)
時間を守って行動しよう (高学年)
- きちんとあいさつ (低学年)
礼を大切にしよう (高学年)
- 身の回りをきれいにし、学習道具を用意しましょう (低学年)
身の回りを整え、自主的に学習準備をしよう (高学年)
- 姿勢はまっすぐ (低学年)
姿勢を正そう (高学年)
- 話は目で聞く (低学年)
授業は目で聞こう (高学年)



- ② 指示をきちんと出し、子ども一人一人が見通しをもって学習できるようにする。【見通し】
 - ・ 授業づくりは4月が勝負！ はじめが肝心。

- ・ 45分間を見通した具体的指示（多めの課題）
（早くできた子は自由時間。・・・荒れの原因①）
- ・ グループ学習で何もしない子がいないように（役割分担を明確に）・・・荒れの原因②
- ・ 課題別学習（内容が各自異なる～テストの書き直し等）では子どもをよく見て指導する。
※ 先生の前に並んで待たせる。⇒休み時間と同じ。・・・荒れの原因③
- ③ 発表の仕方、話の聞き方、ノートの使い方等、基本的学習習慣の形成に努める。
 - ・ 指名してから発言させる。子どものつぶやきや発言をむやみに取り上げない。
・・・荒れの原因④
- ④ 節目節目で沈黙の時間をつくる。・・・ 目をつぶらせると、沈黙する。【空気を止める】
 - ・ 朝の始まり（静かなスタート） ・ 1日の終わり（静かな終わり）
 - ・ 「いただきます」と「ごちそうさま」 ・ 授業の始まりと終わりの号令の前
- ⑤ 朝自習やチャレンジタイム（帯取り）を有効に使う。【子どもの自治的な活動】
【ねらい 1】 子ども主体の活動にする。
 - ・ 毎日必ず実施する。 ・ パターン化して子どもだけで進行できるようにする。
 【ねらい 2】 子どもの計算力や漢字力を高める。
 - ・ 計画的、効率的な練習をさせる。 ・ 事前の準備
- ⑥ 「対人スキルアップ」を意識した授業を展開する。【学力向上のカギ】※詳細は、後日提案
 - ・ 「対人スキルアップ」には、日常的な活動と日々の授業の中で取り組んでいく。
 - ・ 主題研究では、「対人スキルアップ」の視点を取り入れた授業のあり方を研究していく。
 - ・ 「対人スキルアッププログラム」を参考にして、対人スキルアップの授業を実施する。
- ⑦ 家庭学習に主体的に取り組む児童を育成する。【学力向上のカギ】
 - ・ 学校全体で統一感のある家庭学習の取組をして、保護者の協力を得る。
 - ・ 学年で共通した宿題の内容、分量にすることで、「するのが当たり前」という雰囲気をつくる。「宿題の少ない学級」をつくらない。（保護者アンケートの結果から）
 - ・ 『家庭学習の手引き』を活用する。 ・ 自学ノートに取り組む。

(2) よりよい生活や人間関係を築こうとする子どもの育成に努める。

- 「自分を大切にするとともに、他の人も大切にできる」ことができる子どもの育成をめざし、教育活動のあらゆる場面において適時、適切なきめ細かな指導を重ねる。
- 子ども居場所作りに努めるとともに、互いのよさを認め合う活動等の充実に努める。
- 全職員共通理解のもと、「対人スキルアップ」を高める取組みを継続的に行い、子ども一人一人の自己肯定感を高めるとともに、より良い人間関係をつくれるようにする。
- いじめ、いじわる、いやがらせのない学級づくり、学校づくりに取り組む。

- ① 学級目標にこだわる学級作りをする。
 - ・ 学級目標をもとに絶えず評価、指導を行い、年間を通して一貫した学級経営をすすめる。
 - ・ 教師の願いをもとに子どもと作る。→よりよい人間関係作りに関する項目を必ず入れる。
 - ・ 重点的に取り組む行事の際に意識付ける。→次の行事の時に成果と課題を活用する。
（事前、実施中、事後に話し合わせる。・・・学級活動、朝の会、帰りの会 等）
 - ・ 学級指導や道徳の時間で活用する（問題行動を起こした時。良好な活動が見られた時。）

② 言葉遣いに気をつける子どもの育成。

- ・ 「ありがとう」と「ごめんなさい」が言える。
- ・ 友達、先生、大人の人等、相手に応じた言葉づかいができる。
- ・ 友達の名前を呼び捨てにしない。

③ 進んで挨拶する子どもの育成。（木屋瀬中学校区の目標～ あいさつ日本一 ）

- ・ 教師も大きな声であいさつしましょう。（出勤時、退勤時）

④ いじめ、いじわる、いやがらせをしない子どもの育成。

⑤ 道徳の時間を大切にし、道徳性を高める。（毎週 1 時間、年間 35 時間の確保）

⑥ 是は是、非は非というように、毅然とした態度で指導する。

(3) **清潔で美しい学校にするために**

① 心の和む教育環境作りに努める。

- 学習の跡が見えるような学年、学級環境を整える。
- 学習に役立つ掲示を心がける。（既習学習、定着させるもの 等）
- 黙ってまじめに掃除をする。（モクモクデー・・・木曜日は黙って掃除をする）
 - ・ 教師も一緒に掃除をする。
- 花いっぱい为学校。（子どもたちによる栽培活動）
栽培委員会に支援を（水やりの放送、世話の良い学級の紹介、表彰 等）
- 教師が率先して取組む。・ 職員室の棚、事務机 等
- 教室や特別教室、廊下等、環境の見直し、整備に努める。【廊下、階段の掲示物更新等】

(4) **校内研修の充実** ※ 詳細は後日提案

- 学校主題研究の日常実践に取り組み、その充実に努める。
- 若年研を実施し、若年教師の指導力の向上を図る。
- 対人スキルアップに関する研修を実施する。

(5) **カウンセリングマインドを生かした積極的な生徒指導の推進**

- 教師と子ども及び子ども相互の好ましい人間関係を育てる。
 - ・ 学級の荒れの原因となるのは、特別な支援を要する児童の問題行動ではなく、同じような問題行動を起こした場合、「なぜあの子だけがひいきされるのか。」という不満が原因となることが多い。
- ☆ どのような子どもに対しても「是は是、非は非」というように、毅然とした公平な態度で指導する。
- 保護者との積極的な関わりを通し信頼関係を基盤に、子ども一人一人の実態に応じて教育的な愛情をもった適切な指導に努める。
- 職員相互の連携を密に、挨拶や正しい言葉遣い等、基本的生活習慣の育成に努めると共に、問題行動の未然防止、問題の早期発見と早期対応に努める。
 - ・ 「報・連・相」（報告・連絡・相談）の徹底。⇒ 一人で抱え込まず、組織的に対応。
 - ・ 生徒指導、児童支援、特別支援教育コーディネーターの連携強化による生徒指導の充実。
 - ・ 保護者からのお願い、苦情に関する電話、手紙等 ⇒ 学年主任、管理職に相談して対応。

(6) **特別な支援を必要とする児童理解と、個の実態を考慮したきめ細かな指導の推進**

- 教職員間の密な連携のもと、特別な支援を必要とする子ども一人一人の実態を十分考慮したきめ細かな指導に努める。
- 特別な支援を要する児童の指導は組織的に行う。

- ・ 特別な支援を要する児童が問題行動をとっている場合、まず担任が指導を行うが、他の児童の学習に支障をきたす場合や、継続的な問題については組織的に対応する。
- 特別な支援を必要とする子どもに対する理解を深めるための研修の充実に努める。
- 関係機関との連携を密にする。
 - ・ スクールカウンセラー
 - ・ 特別支援教育相談センター
 - ・ 特別支援学校 etc.

(7) 主体的に行動する力を育む防災教育の推進

- 教育活動全体を通して、子ども一人一人が自らの命を大切に、場面に応じて判断し、行動しようとする力を育む。

(8) 豊かな心を育む読書活動の推進

- 10分間読書や読み聞かせ等による活動を積極的に推進し、読書の楽しさを味わわせるとともに、読書の習慣を図る。
- 子どもにとって魅力ある図書館の一層の整備に努めるとともに、図書館の利用の仕方について指導の徹底に努める。

(9) 木屋瀬中学校区小中一環連携教育の推進

- 学力向上（学習ルール）
- 生徒指導（生活ルール）
- 人権教育（家庭学習の手引き）

(10) 信頼される学校であるために

- 気持ちのよいあいさつを
 - ・ 来客への気持ちの良いあいさつ「校内で出会う人は、お世話になっている人です。」の見本を。
 - ・ 電話の対応は、「木屋瀬小学校の〇〇です。」（相手への安心感と責任の所在を明確に）
- 綱紀粛正の徹底
 - ・ 交通事故の防止（起きたら管理職への報告）
 - ・ 飲酒運転の厳禁
 - ・ 公金の取り扱いは厳正に（現金保管はダメ。やむを得ない場合は耐火金庫で短期間）
- 情報管理の徹底
 - ・ 職員室などの整理整頓。整理整頓が情報管理の第一歩。
 - ・ 貴重品の保管。個人情報管理の管理。ルールの遵守。
- 学校予算の計画的・効果的運用
 - ・ 学習指導要領の内容を見通しながら、予算の計画的・効率的な運用に努める。
 - ・ 本校保有備品等の把握をもとにした備品購入計画の立案に努める。
 - ・ 購入伺いによる購入手続きなど、本市会計システムに沿った執行の徹底を図る。

- ① 子どもを信じ、全職員で本気で子どもを育てましょう。
- ② 常に危機意識をもち、報告、連絡、相談、確認を確実にしましょう。
- ③ 環境が子どもを育てます。環境美化に心がけましょう。
- ④ 学力の定着を支える学習習慣、学習規律の徹底に努めましょう。
- ⑤ PTA活動や地域活動への参加と保護者・地域との連携を密にしましょう。
- ⑥ 綱紀粛正に努めましょう。
 - ☆ 不祥事は絶対起こさない。
 - ・ 飲酒運転は絶対しない
 - ・ 体罰はしない
 - ・ 個人情報の管理に注意
- ⑦ 効率的な事務を心がけ、時間外勤務を少なくしましょう。
- ⑧ 自分自身で、健康管理を心がけましょう。